

ウプト

w p w t



ウプトとは、古代エジプトのヒエログリフ（象形文字の一種）で、「伝運する人」の意味。エジプト古王国の碑文などに見られ、19世紀初めにフランスのシャンポリオンが解読している。



4月1日開催、2026年度入学式の日のメインストリートの様子

特集

2025年度 学位記授与式
2026年度 入学式

2025年度 学位記授与式

3月19日、中部大学・中部大学大学院学位記授与式が講堂（体育館）で行われ、学部生2467人、大学院生155人、論文博士1人がそれぞれ修了・学位授与の日を迎えました。学位記授与式は2部制で行われ、付添者は不言実行館ACTIVE PLAZAや10号館に設けられたサテライト会場でライブ配信を視聴しました。



2026年度 入学式

4月1日、中部大学・中部大学大学院入学式が講堂（体育館）で行われました。本年度は、学部生2997人、3年次編入学生4人の計3001人と、大学院修士・博士前期課程202人、博士後期課程6人を新たに迎えました。式典後は中部大学イベントスタッフ（CUE）を進行の新生歓迎イベントを開催し、チアリーダーング部、軽音楽部による華やかなパフォーマンスや美術部が作成した横断幕、有志学生によるダンスが披露され、会場は歓迎の熱気に包まれました。付添者はサテライト会場でライブ配信を視聴しました。



CONTENTS

特集 P01

2025年度学位記授与式
2026年度入学式

桃園四季 P03

地域に貢献する「あてになる」人材育成
～豪雨に備える社会を目指して～
武田 誠教授

TOPIC P05

2027年4月
現代教育学部が教育学部に名称変更！

ようこそわが研究室へ P06

現場の最前線へ
多様な社会課題と向き合う自由な研究室
中谷 こずえ研究室

特集レポート P07

2025年度進路状況

Close Up P09

線虫を研究して
長谷川 浩一教授

学生編集委員のページ P11

その空きコマ、どう使う？

Free Talk P13

はじめの一步からアプリ実装まで
八木 夏音さん

わがクラブ P14

得意を生かし、全員で創る
放送研究会

CAMPUS NEWS P15

新入生向けクラブ勧誘イベント
春一祭 etc.

Random Shot P21

世界への「挑戦の舞台」を整える
筒井 博司さん

活躍するOB P22

100年先へ、想いを写す
奥野 浩次さん



第1部代表
額額 裕馬さん
ロボット理工学科



第2部代表
松下 歩夢さん
歴史地理学科

卒業生代表謝辞
第1部では額額裕馬さん(ロボット理工学科)、第2部では松下歩夢さん(歴史地理学科)が卒業生代表として登壇。4年間の学びや仲間との絆、支えてくれた方々への感謝とともに、新たな門出への力強い決意を述べました。

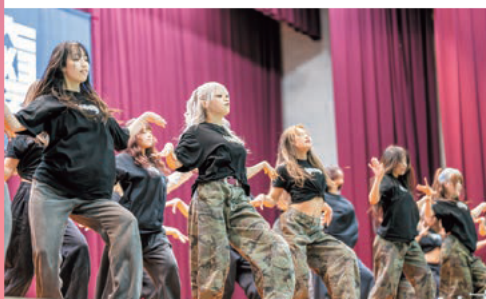


第1部代表
宮田 芽依さん
数理・物理サイエンス学科



第2部代表
畔柳 惺さん
現代教育学科
中等教育国語数学専攻

代表宣誓
第1部では、宮田芽依さん(数理・物理サイエンス学科)、第2部では畔柳惺さん(現代教育学科中等教育国語数学専攻)による代表宣誓が行われ、新たな学び舎での第一歩を刻みました。



地域に貢献する「あてになる」人材育成
 ～豪雨に備える社会を目指して～

工学部長、都市建設工学科 武田 誠 教授

河川には流域に降った雨が集まり、時に洪水となりま
 す。水位が上昇して堤防を越えると浸水被害が発生し、
 これを外水氾濫と呼びます。これまで外水氾濫を防ぐた
 めに堤防整備などが進められてきましたが、近年は気候
 変動の影響により豪雨が極端化し、将来、これまで以上
 の降雨の発生が懸念されています。河川整備には長期間を
 要し、現行計画ですら未完成であることを踏まえると、堤
 防だけで気候変動に対応するには限界があります。

この状況を受け、現在は「流域治水」という考え方が重
 視されています。流域治水は、行政だけでなく地域住民や
 企業など、関係するすべての主体が協力して水害に備え
 る取り組みです。具体的には、田んぼダムの活用、利水ダ
 ムの事前放流、安全な高台や浸水想定区域外への住居・都
 市機能の移転など、多様な対策が検討されています。国土
 交通省も流域治水の推進を掲げ、総合的な治水対策を進
 めています。

近年は降雨予測の精度が向上し、危険が迫れば避難指
 示が発令されます。しかし、指示が出ても実際に避難する
 住民が少ないことが課題となっています。住民の危機意
 識を高めることは、地域防災力の向上に不可欠です。私た



国土交通省：流域治水の推進



春日井まつり(2024年)



春日井まつり(2022年)



春日井まつり(2022年)



環境フェアみずなみ2025



武田 誠

たけだ まこと

京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。専門は水工学、都市浸水、水環境問題。国土交通省や愛知県、三重県、春日井市などの委員会に参加し地域づくりに貢献。

ちの研究室では、2022年から春日井まつりに参加し、学生が都市の水害の仕組みや対策を住民に説明する活動を続けています。この取り組みは、住民の水害に対する防災意識の向上と学生の知識定着の双方に寄与するものです。春日井まつりにお越しの際はぜひ私たちのブースに立ち寄っていただくと嬉しく思います。

中部大学工学部は設立から60年以上の歴史を有し、多くの卒業生が社会で活躍しています。私は河川整備や治水、まちづくりに関わる行政の委員会に参加しますが、そこで行政職員やコンサルタントとして働く卒業生に出会うことも多くあります。地域の浸水想定に関わる仕事に研究室の卒業生が携わっていると聞くこともあります。卒業生の活躍は教員として大きな喜びであり、今後も社会にとって「あてになる人間」の育成に力を注いでいきます。

現代教育学部が 教育学部に名称変更!



現代教育学部長
三島 浩路

2008年4月に開設した現代教育学部は、当初は幼稚園・小学校・特別支援学校の免許課程のみでしたが、その後、中学校(理科・国語・数学)の免許課程を次々と開設。取得可能な免許種を大幅に増やしてきました。



取得可能な資格

保育士

中学校教諭一種

(理科、国語、数学)

幼稚園教諭一種

特別支援学校教諭一種

(知的障害・肢体不自由・病弱教育領域)

小学校教諭一種

准学校心理士

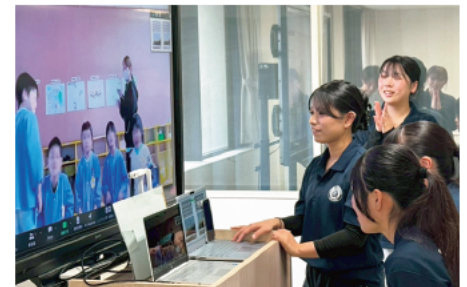
取得可能な免許種を増やしただけでなく、「あつまれ!! わんぱく隊」や「なるほど!子どもアカデミー」など、学生が子どもたちと直接関わり合い体験的に教育力を高める場を設けたり、岐阜県高山市との連携のもと、ICTを先進的に活用した「Y project」を行うなど、学生の志向に応じた多様な実践の場も整備してきました。



▲ あつまれ!!わんぱく隊



▲ なるほど!子どもアカデミー



▲ Y project



現代教育学部開設から間もなく20年を迎え、多くの卒業生が教育・保育の現場で活躍しています。そのような中、免許課程の“建て増し”で進化を遂げてきた現代教育学部を再構成し、この国の将来を見据えた未来志向の教育者などの養成機関に生まれ変わります。

その第1弾として、2027年4月より学部名称を「教育学部」とする計画です。「教育学部」という名称は、愛知教育大学をはじめとした教員養成系大学を中心にこれまで広く使われており、その名称には小中学校の教育者等を養成するというイメージが色濃く漂っています。6種類の免許課程を持つに至った本学部は、

- 「教育学部」にふさわしい多様な免許課程を持つだけでなく、課題解決型学修の導入や少人数教育の充実などにより、中部大らしい“あてになる教育者”の養成を推進します。
- 「教育学部」に名称を変更した後、実践的な側面を重視した入試スタイルを幼児教育学科に新しく取り入れたり、多様な子どもたちに寄り添う力を高める教育プログラムをこれまで以上に充実させたりするなど、第2・第3弾の変革に向けた準備も進めています。
- 現代教育学部から「教育学部」への飛躍はこれからスタートです。生まれ変わる「教育学部」をぜひご期待ください。

ようこそ

わが研究室へ

vol.190

スポーツ保健医療学科
中谷 こそづえ 研究室

現場の最前線へ 多様な社会課題と向き合う 自由な研究室

中谷こそづえ研究室の最大の魅力は、特定の枠組みに縛られず、社会が抱える多様な課題に自由な発想で挑める環境にあります。将来、救急救命士・消防士・警察官など、社会の最前線で活躍することを目指す私たちにとって、固定化された方向性がないからこそ、一人一人の関心が最大限に尊重されています。

研究テーマは幅広く、認知症ケアや受刑者支援など、さまざまな角度から「ひと」や「社会」のリアルな課題に向き合っています。また、研究室の大きな成果として、大阪・関西万博では10年以上の研究をもとに「集中力を高める光」に関するプロジェクトを出展し、世界に向けて発信しました。活気と挑戦心に満ちた研究室です。

普段のゼミはとても家庭的で、先輩と後輩の距離が近く、真剣な議論も悩み相談も自然にできる温かい雰囲気です。お菓子作りをしながら将来について語り合ったり、公務員試験の勉強に集中したりと、メリハリを大切にしながら活動しています。安心して自分らしくいられる、そんな居心地の良い空気が流れています。



ゼミ生レポート



スポーツ保健医療学科4年
田中 蒼佑

ゼミ生に
ひとこと



スポーツ保健医療学科
なかたに
中谷 こそづえ 准教授

中谷研究室は、自由に考え、深く学び、共に成長する場所です。学生が主体的に「やりたいこと」に取り組めるゼミでもあり、たとえ「できないかもしれない」と感じる場面でも、模索しながら前へ進めるような仕掛けを用意し、さまざまなチャレンジができる環境を提供しています。正解のない社会の中でも挑戦する心を持ち、自ら問いを立て、そして自分の命を大切にしながら前へ進んでほしいと願っています。

先生は
こんな人

中谷先生は、学生の将来を本気で考え、さまざまな世界を見せてくださる先生です。落語家、起業家、格闘家、バイオリニスト、モデルなど、第一線で活躍する方々を招き、私たちの視野を大きく広げてくださいます。学生一人一人の心の動きを見ながら、適切なタイミングで確かな“生きる力”を授けてくださる先生です。



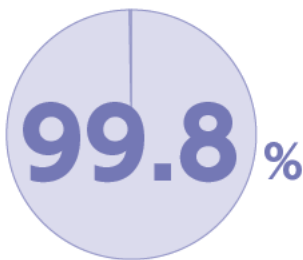
2025年度進路状況

2025年度卒業生の就職率は99.8%となり、10年連続で99%超という成果を収めました。卒業生の活躍によって築いた信頼を背景に、本学への求人は2023年度以降2万件を超えています。この高い就職率は、学生の皆さんの努力とご家族・企業の皆様の温かな応援、教職員一丸となったサポート体制が実を結んだ結果です。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

求人社数

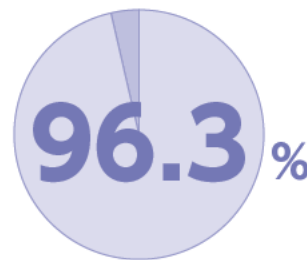
22,326 社

就職率



就職者数÷就職希望者数

実就職率



就職者数÷(卒業者数-国内大学院進学者数)

2025年度卒業生の 教員・保育士採用者数

高等学校	専任教諭 7人	講師 12人
中学校	専任教諭 7人	講師 5人
小学校	専任教諭 34人	講師 18人
特別支援学校		講師 2人
養護教諭	専任教諭 1人	
幼稚園	教諭 8人	うち 公務員 1人
保育園	保育士 43人	うち 公務員 36人
認定こども園	保育教諭 6人	うち 公務員 1人
保育園以外の 児童福祉施設	保育士 3人	うち 公務員 1人

※講師には非常勤講師を含む。

2025年度卒業生の 国家試験受験状況

生命健康科学部			
看護師	受験者 97人	合格者 93人	合格率 95.9% (全国合格率 94.1%)
保健師	受験者 6人	合格者 6人	合格率 100% (全国合格率 89.9%)
臨床検査技師	受験者 18人	合格者 18人	合格率 100% (全国合格率 93.3%)
理学療法士	受験者 42人	合格者 39人	合格率 92.9% (全国合格率 94.9%)
作業療法士	受験者 38人	合格者 38人	合格率 100% (全国合格率 96.6%)
臨床工学技士	受験者 49人	合格者 41人	合格率 83.7% (全国合格率 75.2%)
救急救命士	受験者 49人	合格者 49人	合格率 100% (全国合格率 97.1%)
応用生物学部			
管理栄養士	受験者 35人	合格者 29人	合格率 82.9% (全国合格率 79.3%)



2025年度卒業生・修了生の主な進路

建設業

(株)一条工務店、NECネットエスアイ(株)、NDS(株)、エヌ・ティ・ティ・インフラネット(株)、(株)大林組、(株)奥村組、(株)きんでん、(株)鴻池組、五洋建設(株)、清水建設(株)、住友電設(株)、住友林業(株)、積水ハウス(株)、高砂熱学工業(株)、(株)トーエネック、戸田建設(株)、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)、日鉄テックスエンジニア(株)

製造業

〈鉄鋼業・非鉄金属・金属製品〉(株)アーレスティ、(株)青山製作所、中央発條(株)、(株)パロマ、古河AS(株)、リンナイ(株)

〈化学・医薬・食品〉アース製薬(株)、(株)イノアックコーポレーション、科研製薬(株)、小島プレス工業(株)、三生医薬(株)、敷島製パン(株)、住友理工(株)、第一三共(株)、大日本印刷(株)、TOPPANホールディングス(株)、日清オイリオグループ(株)、日本メナード化粧品(株)、フジパングループ本社(株)、(株)ブルボン、三菱ケミカル(株)、(株)明治、山崎製パン(株)、雪印メグミルク(株)

〈産業機械〉NTN(株)、オークマ(株)、CKD(株)、(株)ジェイテクト、東芝エレベータ(株)、日立建機(株)、三菱重工業(株)、ヤマザキマザック(株)

〈電気・電子・情報通信機器〉イビデン(株)、河村電器産業(株)、関西電力送配電(株)、シンフォニアテクノロジー(株)、スタンレー電気(株)、住友電装(株)、(株)デンソーエレクトロニクス、(株)デンソーテン、東芝テック(株)、東芝デバイス&ストレージ(株)、日本無線(株)、パナソニックインダストリー(株)、三菱電機(株)

〈輸送機器関連〉(株)IHI、(株)アイシン、(株)アドヴィックス、カワサキモータース(株)、(株)三五、ジャパン マリンユナイテッド(株)、スズキ(株)、(株)SUBARU、(株)ソミック石川、ダイハツ工業(株)、豊田合成(株)、トヨタ自動車(株)、トヨタ車体(株)、豊田鉄工(株)、トヨタ紡織(株)、林テレンプ(株)、豊生ブレーキ工業(株)

〈精密・工学・レンズ・医療〉愛知時計電機(株)、(株)メニコン

商業

〈商社〉サンワテクノス(株)、タキヒヨー(株)、東京エレクトロン(株)、トヨタモビリティパーツ(株)、日本食研ホールディングス(株)、萩原電気ホールディングス(株)、三菱電機デジタルイノベーション(株)、矢崎総業(株)、

リコージャパン(株)

〈流通〉イオンリテール(株)、(株)オークワ、(株)JR東海リテイリング・プラス 名古屋本社、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)パローホールディングス、(株)ファーストリテイリング、マックスバリュ東海(株)

金融業

〈銀行〉(株)あいち銀行、(株)イオン銀行、(株)三十三銀行、(株)みずほ銀行

〈信金〉岡崎信用金庫、瀬戸信用金庫、東濃信用金庫

〈保険〉朝日生命保険(相)、日本生命保険(相)

〈証券〉東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)

サービス業

〈情報通信〉NECソリューションイノベータ(株)、NTT東日本(株)、ジェイアール東海情報システム(株)、(株)中電シーティーアイ、デンソーテクノ(株)、(株)東海理化アドバンスト、豊田通商システムズ(株)、(株)名古屋テレビ映像、(株)名古屋東通、富士ソフト(株)、三菱電機ソフトウェア(株)

〈宿泊業〉(株)ジェイアール東海ホテルズ、(株)西武・プリンスホテルズワールドワイド、東急リゾーツ&ステイ(株)

〈旅行代理店〉名鉄観光サービス(株)

〈その他サービス〉ALSOK(株)、ANAベースメンテナンステクニクス(株)、キオクシアシステムズ(株)、岐阜県公衆衛生検査センター、(株)島津アクセス、中部国際空港旅客サービス(株)、(株)テクノ中部、(一財)東海技術センター、(一財)日本品質保証機構、(株)日立パワーソリューションズ、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機システムサービス(株)

〈協同組合・郵便局〉JAあいち知多、JA鈴鹿、JAセレス川崎、JAとびあ浜松、JAなごや、JAみなみ信州、日本郵便(株)

医療

〈病院〉愛知医科大学病院、一宮西病院、大垣市民病院、大阪医科薬科大学病院、大阪大学医学部附属病院、春日井市民病院、刈谷豊田総合病院、岐阜県立多治見病院、岐阜大学医学部附属病院、杏林大学医学部附属病院、倉敷中央病院、国立長寿医療研究センター、(独法)国立病院機構(名古屋医療センター、東名古屋病院)、小牧市民病院、静岡県立総合病院、(独法)地域医療機能推進機構中京病院、トヨタ記念病院、名古屋市立大学病

院、名古屋大学医学部附属病院、日本赤十字社(愛知医療センター名古屋第一病院、愛知医療センター名古屋第二病院)、浜松医科大学医学部附属病院、浜松医療センター、藤田医科大学病院

教育

〈公立高校教員〉愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、長野県、金沢市

〈公立中学校教員〉愛知県、長野県、御前崎市、相模原市

〈公立小学校教員〉愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、福井県、石川県、高知県、沖縄県、名古屋市、相模原市

〈公立保育園〉一宮市、磐田市、春日井市、可児市、岐阜市、塩尻市、土岐市、豊田市、浜松市、四日市市

公務員

〈国家〉厚生労働省長野労働局、国土交通省海事局、農林水産省動物検疫所、福岡国税局、防衛省(陸上・海上・航空自衛隊)

〈地方自治体〉愛知県、三重県、犬山市、大府市、小浜市、春日井市、津市、中津川市、名古屋市、碧南市

〈警察〉愛知県、岐阜県、神奈川県、警視庁
〈消防〉一宮市、岡崎市、桑名市、小牧市、東京消防庁、富山市、豊橋市、名古屋市、松本広域

〈その他〉名古屋港管理組合

その他

〈電力・ガス・水道〉NTTアノードエナジー(株)、ソーラエナジー(株)、中部電力パワーグリッド(株)、電源開発(株)、東京電力パワーグリッド(株)

〈不動産取引〉(株)エイブル、中電不動産(株)、(株)トヨタエンタプライズ

〈輸送〉伊勢湾海運(株)、ANAエアロサプライシステム(株)、近畿日本鉄道(株)、佐川急便(株)、スイスポーティング(株)、スカイマーク(株)、西濃運輸(株)、中部スカイサポート(株)、東海旅客鉄道(株)、中日本高速道路(株)、名古屋鉄道(株)、日本通運(株)

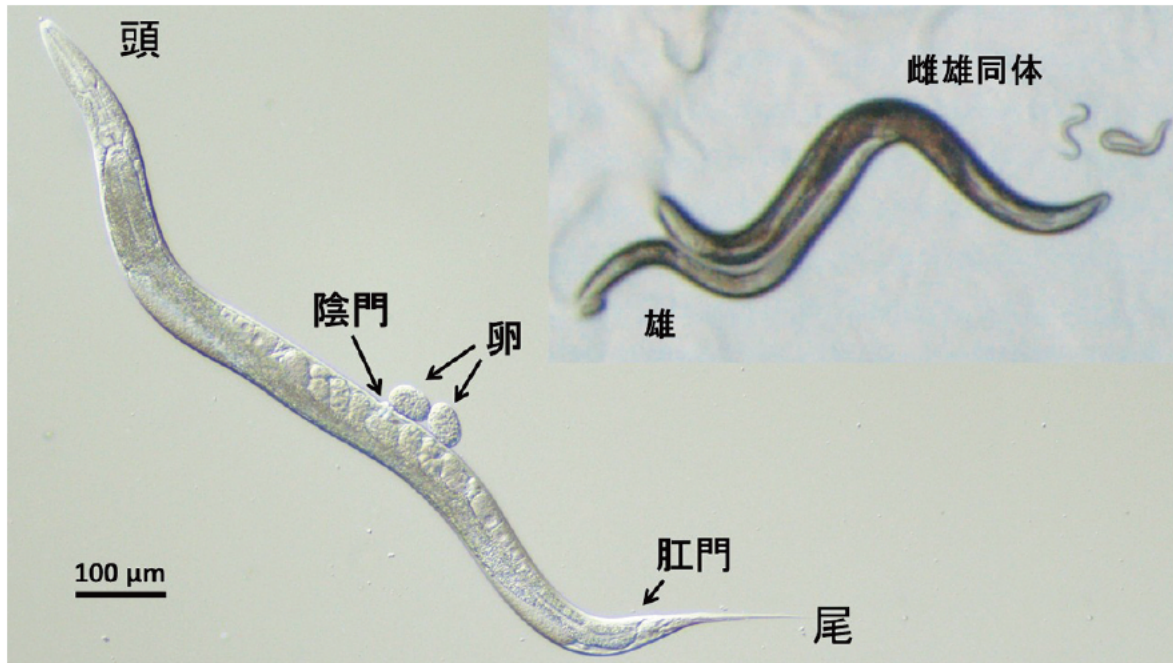
進学/大学院

愛知教育大学大学院、岐阜薬科大学大学院、埼玉医科大学大学院、千葉工業大学大学院、中部大学大学院、東京大学大学院、名古屋工業大学大学院、名古屋大学大学院、ベルリン工科大学大学院

(順不同)

応用生物学部 環境生物科学科 長谷川 浩一 教授

線虫を研究して



線虫の一種 *Caenorhabditis elegans* (エレガンス)、左は雌雄同体成虫の微分干渉顕微鏡写真。

体長はおよそ1ミリ、体が透明で器官を細胞レベルで観察することができる。右上は雄と雌雄同体が交尾する様子の実態顕微鏡写真。

雌雄同体個体は自前の精子と卵子の自家受精でも、雄個体と交尾して供給される精子と自身の卵子の他家受精でも、次世代を産むことが可能である。

地球上には形態や生態が驚くほど多様な生物が存在しています。「どうしてこんなところに」と思うような極限環境であっても、そこで元気に活動する生物に出会うことがあります。これは、生物が「どうすれば次の世代が生き残れるか」という問いに、何億年もかけて答えつけてきた結果です。その代表的な仕組みの一つとして、有性生殖によって生み出される「多様性」が挙げられます。両親の遺伝子を混ぜ合わせることで、子は親と少し違う特徴を持ちます。この違いこそが、環境が変わったときに「種を存続させるため」の適応力となります。

生物は環境に応じて、生き方そのものを変えることもあります。食べ物が十分にあり生活環境が安定しているときには子を多く産み、次の世代に場所と栄養を譲るために親は早く世代交代していきます。有性生殖によって世代を重ねることが多様性を高める仕組みであるならば、良い環境のときに多様性をできる限り揃えようという戦略です。この仕組みには、線虫という動物を使った研究で発見された寿命遺伝子が関わっています(寿命を短くする遺伝子セットが働きます)。一方、食べ物が少なく生活環境が悪いときには、次世代を産んでも育つ可能性が低いため、あえて産まず、親自身のストレス耐性を高めたり、効率よいエネルギー代謝に切り替えたりして寿命を延ばすという戦略をとります(寿命を長くする遺伝子セットが働きます)。環境が改善するまで待ち、次の世代を確実に残すための仕組みです。



長谷川 浩一

はせがわ こういち

第16代および17代日本線虫学会会長。「寄生・共生進化」「動植物防疫」「生物農薬開発」はじめ「寿命と老化」「学習と記憶」「形態形成(体軸決定)機構」「性決定様式」など、線虫を使いあらゆる生物学テーマに挑む。中部大学国際交流センター長。学園ビジョンに掲げられた国際化を推進し、「学生」「教員」「職員」はじめキャンパスに集う皆が世界とつながり、共に成長するための環境をつくる。



2024年11月、オハイオ大学国際教育ウィークでのTANAKA-OHIO賞授賞式。



2024年9月、国際植物防疫プロジェクトチームによる日本全国のブナ林調査、大学院生時代からの友人 Paulo Vieira(USDA-ARS、右上)たちとの共同研究。

ここで重要なのは、これらの仕組みが「個体のため」というよりも「種を存続させるため」に働いているという点です。私たちヒトもまた、かつては厳しい自然の中で生き抜いてきた動物であり、線虫や他の生き物と共通する基本的な仕組みを備えています。寿命を制御する遺伝子の存在を明らかにした線虫研究は、ヒトの老化や健康の理解に欠かせない基盤を築き、生物進化の意義にまで切り込むことができた重要な成果です。

しかし、ヒトは社会性を高度に発達させた地球上でも特別な生物といえます。何億年にもわたって問い続けてきた「種を存続させるため」から離れ、「個を尊重する」という価値観を生み出したのは私たち人間だけかもしれません。教育現場でも、学生一人一人の背景や能力の違いを尊重し、個々に応じた指導が求められています。ただし、個を尊重する教育は「わがままを許す」ことでは決してありません。自分が尊重されたように、他者も尊重できる視点と対応力を育てることが必要です。

国際交流もまた、未来を切り拓く^{ひら}く学生たちにとって欠かせない学びの場であり、異なる文化や価値観に触れることは、生物が多様性を武器に環境変化を乗り越えてきた歴史と重なります。最近では大国が力で主張を押し付けるような全体主義的な傾向が台頭してきています。私たちは改めて「個を尊重する社会」を守り育てる必要があります。

未来を元気に切り拓いていこうとする学生たちに、線虫学をお勧めします。

その空きコマ、

週に数回やってくる、自分だけの「空白の時間」。中部大生は、授業の空きコマをどう使い、どう楽しんでいるのでしょうか？

カフェで作業効率アップ！

空きコマは20号館1階のカフェで、リフレッシュを兼ねてレポートを作成。お気に入りの一杯を片手にリラックスすると良いアイデアが浮かび、一気にはかどります。この雰囲気大好きで、作業効率も上がる大切な時間です。



吉村 希さん
国際学科4年

大切な友人と楽しく話す時間！

空きコマは友人とコンビニでお菓子を買い、25号館1階のラウンジでくつろぐのが定番。お菓子を囲んで「あるあるネタ」で笑い合う時間は最高の癒やしです。賑やかな交流は心身のリフレッシュになり、学習への良い刺激にもなっています。



阿部 倫弥さん(写真左)
歴史地理学科4年

空きコマでつくる、未来へのひととき

空きコマはTYK Dining(第3学生ホール)で就職活動の情報収集。開放的な空間とソファがお気に入り。程よい賑わいの中で企業研究やインターン調査に集中できます。何気ない時間も、意識次第で将来に繋がる前向きな準備時間に。



伊藤 麻央さん
コミュニケーション学科4年

学びとリラックスが共存する90分

空きコマは28号館2階学生ラウンジで、映画鑑賞や作曲などの課題に集中しています。食堂が近く気分転換もしやすいため、学びとリラックスのバランスが取れるのが魅力。落ち着いた環境で、次の授業に向けた準備を自分らしく進めています。



田中 佑佳さん
コミュニケーション学科4年

晴れの日に友人と「何歌いたい？」

空きコマは図書館北の芝生で友人とギターを弾いて過ごします。晴れた日は心地よく、お昼を食べるのにも最高の穴場です。音楽の話を通じて友人の意外な一面を知ること楽しく、特に春秋は吹く風が心地よいお気に入りの場所です。



小野 あんじゅさん
国際学科3年

のんびり早めのランチタイム

3・4限に空きコマがある時は、51号館で数量限定のオムライスとコーヒーを楽しみます。パンフキンやアイス自販機もあり、気分を選べるのが魅力。冬などは天気の良い日に窓際で温まるのが楽しみです。すっかりお気に入りの場所になっています。



熊部 日菜さん
国際学科3年



熊部 日菜
国際学科
3年



小野 あんじゅ
国際学科
3年



阿部 倫弥
歴史地理学科
4年



田中 佑佳
コミュニケーション学科
4年



伊藤 麻央
コミュニケーション学科
4年



吉村 希
国際学科
4年

ウプト学生編集委員の
私たちが企画・
執筆しました。



どう使う？

勉強、趣味、リフレッシュ…。学生編集委員の日常から、有意義なキャンパスライフのヒントを探ります。

スキマ時間を有効活用！

スペイン語の復習のため、空きコマはLanguage Loungeを利用しています。参考書が豊富で明るい空間なので、集中して総復習に取り組みます。90分で知識が定着していく実感があり、期末テスト対策にも有意義な時間です。



重松 歩佳さん
国際学科3年

部屋ついでいよね

空きコマは合気道部の部屋で過ごします。17時からの部活に備え、昼寝や課題、部員とのボードゲームなど、学年を超えて交流でき、静かで自由な空間なので、少し遅くてもつい足が向いてしまいます。



村松 大雅さん(写真右)
心理学科3年

頼れる9号館の安らぎの場

空きコマは、1・2限後にまず食堂の食券を先に買ってから、9号館2階学生ラウンジ「日空オアシス」へ。冷暖房やコンセント完備で、最近がゲーム制作に没頭しています。ウォーターサーバーもあり、夏場も快適に集中できる素敵な環境です。



森山 裕多さん
宇宙航空学科3年

ココロオドル!! 本の旅へ

学生選書への参加を機に、図書館に通うようになりました。特設コーナーには学生の推し本やユニークなPOPが並び、覗くたびに新しい発見があります。「次はどんな本に出会えるかな」と、空きコマの密かな楽しみです。



星野 結菜さん
食品栄養科学科食品栄養科学専攻3年

知見を広げられる場所

空きコマはキャンパスプラザで、ニュースや特別支援についての動画を視聴して過ごします。関心のある専門分野を深める時間は、頭を休めつつも心がワクワクする大切なひととき。自分のペースで将来の知見を広げられる場所です。



寺西 明さん
現代教育学科現代教育専攻3年

通学時の隙間時間を活用！

1年生は必修科目が多く空きコマがありませんでしたが、往復3時間の通学時間を「自分なりの空きコマ」として英語学習に充てています。高校時代からの習慣で集中力もつき、電車内を有効活用して日々積み重ねています。



小松 望愛さん
現代教育学科現代教育専攻2年

ウプト学生編集委員大募集!

学年は問いません。いつからでも始められます。関心のある方は、入試・広報部制作課(1号館1階)までお越しください。電話・メールでもお問い合わせ可能です。

☎ 0568-51-4465 (入試・広報部制作課直通)
✉ chubu-selsaku@fsc.chubu.ac.jp



小松 望愛
現代教育学科
2年



寺西 明
現代教育学科
3年



星野 結菜
食品栄養科学科
3年



森山 裕多
宇宙航空学科
3年



村松 大雅
心理学科
3年



重松 歩佳
国際学科
3年

Free Talk
私にも書かせて

はじめの 一歩から アプリ実装まで



▶アプリ「C-bus」はこちらから
(インストール不要です)



経営総合学科4年
八木 夏音



私は通信制高校出身で、特別な実績や自信がない状態で大学に進学しました。しかし、「どんな環境に置かれても、人は誰かの役に立てる」ということを証明したいと考え、大学では何事にも積極的に挑戦すると決めていました。

大学1年生で参加した経営情報学部主催のシリコンバレー研修は、私の価値観を大きく変えた経験です。現地では、失敗を恐れず自らのアイデアで社会課題に挑み、行き詰まっても対話を重ねながら実装を進める学生起業家や、企業の中で柔軟に発想し続ける人々の姿に触れました。その姿に強く刺激を受け、「自分も在学中に社会に価値を届けたい」と考え、ビジネスプランコンテストへの挑戦を決意しました。

取り組んだのは、バスの待ち時間を可視化するアプリの開発です。中部大学へバスで通学する中で、「あと何分バスが来るのか分からない」「次に乗れる電車を知らりたい」といった不便を日々感じていました。この課題を解決するため、GPSを活用してバスの位置情報と到着予測を表示する、ダウンロード不要のウェブアプリを構想しました。

まずはアイデアの実現性を高めるため、「十三銀行ビジネスプランコンテスト」に出場し、優秀賞を受賞しました。さらに協力者を募るため「かずがビジネスプランコンテスト」に挑戦し、最優秀賞をいただきました。しかし、実装に向けては協力企業の確保が大きな壁となりました。そこで、ゼミの先生や学部長をはじめ、多くの大学関係者の方々に相談し、さまざまな企業を紹介いただくことで、「株式会社システムサーバー」様と出会うことができました。また、梶田晃世さん(情報工学科4年)とも連携し、開発体制を整えました。



開発では何度も会議を重ね、使いやすさの改善だけでなく、広告モデルによる収益化を見据えた企業への提案も行いました。技術面だけでなく、事業として成立させるための検討を重ねた結果、アプリは実際に形となりました。その後、「Longbar」アイデアピッチコンテストにおいて「JR東海賞」と「フォワードリーム賞」を受賞しました。



これらの経験を通して、私は「特別な実績や自信がなくても、自ら行動し続けることで価値を生み出せる」ということを実感しました。

また、一人では実現できないことも、周囲と協働すれば実現できると学びました。多くの方々と関わる中で実現に至った経験は大きな自信となっています。これからも挑戦を続け、自分の可能性を広げながら、社会に貢献したいと考えています。

わが クラブ

放送研究会

Club News No.202

得意を生かし、 全員で創る



皆さんこんにちは。放送研究会部長の古川拓磨です。

私たち放送研究会は、毎週水曜日に27号館のテレビスタジオや教室で活動しています。現在、21人の部員で和気あいあいと取り組んでいます。

放送研究会の主な活動は、隔

週水曜日のお昼にYouTubeで配信する生放送や、大学祭などのイベント時に27号館のスタジオを飛び出して特設スタジオからお届けする「特大生放送」です。お昼の放送では、学生生活に役立つ情報や先生方の研究内容などを自分たちで構成して配信しています。また、ケーブルテレビの番組制作にも携わっています。

新入生が入部する春には、カメラや音声機材の講習といった基礎練習に力を入れています。上級生が丁寧に教えるので、専門知識がゼロで機材に触れたことがない初心者でも安心してスタートできます。

日々の番組作りでは、大学などで行われる行事の撮影とインタビューをしたり、教員や学生の研究を取材、季節の話題を取り入れた特集を組んだり、学生ならではの視点を生かしています。特大生放送では中継車を使用し、実践的で本格的な放送を行っています。

放送研究会には、話すことが

好き、機材や動画編集に興味がある、企画が得意など、個性豊かな部員が集まっています。それぞれの得意分野を生かして全員で協力し、1つの作品を作り上げて無事に放送を終えたときの達成感は、放送研究会ならではの魅力です。

人前で話すのは少し不安という方も、カメラ担当、番組をまとめるディレクターなど、裏方として活躍できる場がたくさんあります。少しでも興味のある方は、ぜひ一度、27号館のテレビスタジオを訪ねてみてください。Instagramでも日々の活動の様子を発信していますので、ぜひご覧ください。皆さんの入部を心よりお待ちしております。



Instagram



放送研究会 部長
メディア情報社会学科3年
古川 拓磨



CAMPUS NEWS

100円朝食

4月6日～5月1日の授業日に、湯浅糸道ホール(第1学生ホール)で学生の食習慣の改善や生活習慣の形成、物価高騰に対する経済支援を目的として100円で朝食が提供された。学生らは和定食とカレーライスの日替わり、またはパンセットから選んでいた。また、5月11日～6月5日の授業日には、キャンパスプラザ1階のにくまるbyテンキチと黒潮のお弁当で朝食が提供される。



地域創成メディエーター学生発表会 「プラス・エクスプレッション」

2月19日午後、第12回地域創成メディエーター学生発表会「プラス・エクスプレッション」が開催され、プレゼンテーション発表が不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールで、ポスター発表は同2階のシュチュudent・コモンズで行われた。今回はプレゼンテーション発表5人、ポスター発表33人の合わせて38人と3月4日にポスター発表を行った2人、同じく16日の1人を合わせた41人が地域創成メディエーターの認定を受けた。



新入生向けクラブ勧誘イベント 春一祭

3月25日から、クラブ運営委員会と中部大学祭実行委員会主催の新入生向けクラブ勧誘イベント春一祭が開催された。メインストリートでのチラシ配りやポスター掲示、学内3カ所にスライドショーを放映した。4月2日には、10号館前特設ステージで活動紹介を行ったほか、湯浅糸道ホール(第1学生ホール)ではクラブ相談ブースを設けた。



学内業界セミナー

2月4・5・9～11日の5日間、学内業界セミナーが開催された。9～11日は対面で湯浅糸道ホール(第1学生ホール)を会場に、4・5日はオンラインで行われた。497社の企業が出展し、9～11日は学生延べ741人、4・5日は学生延べ648人が参加した。



被災地支援活動

2月8～10日、中部大学ボランティア・NPOセンターの学生が東日本大震災の被災地を訪問しボランティア活動を行った。石巻市震災遺構大川小学校や南三陸町旧防災対策庁舎、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館などの視察、気仙沼市役所では2024年2月に締結した協定に関する今後の活動について意見交換を行った。2011年9月の初訪問から15年目、26回目の訪問となった。



ボランティア活動(気仙沼市階上地区杉之下)

名誉教授の称号授与

4月22日、名誉教授の称号授与式が行われた。授与されたのは、磯部友彦前教授(都市建設工学科)、常川光一前教授(電気電子システム工学科)、森岡孝文前教授(経営総合学科)、愛知峰子前教授(日本語日本文化学科)、城憲秀前教授(保健看護学科)の5人。



スプリングコンサート

4月15日午後、キャンパスプラザ1階愛知電機 Student Lounge.で2025年度スプリングコンサートが開催され、混声合唱団、管弦楽団、マンドリンクラブ、軽音楽部、シンフォニックバンドが出演した。



地域貢献活動優秀者認定証の交付式

4月15日午後、春日井市役所で地域貢献活動優秀者認定証交付式が行われた。地域連携住居に入居し、特に顕著な地域貢献活動の実績を有する学生に対して、春日井市長より高蔵寺ニュータウンの活性化推進に寄与したことが認定された。授与されたのは、伊佐次優飛さん(経営総合学科3年)、眞野晶さん(同)、柄谷舟汰郎さん(機械工学科3年)、鈴木拓翔さん(環境生物科学科3年)、奥田紗雪さん(食品栄養科学科食品栄養科学専攻3年)、山下翔悟さん(現代教育学科現代教育専攻3年)。



※学生の学科・専攻・学年は開催(受賞)時のもの。

中部大学ボランティア・NPOセンター活動報告会

3月13日午前、不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールで、中部大学ボランティア・NPOセンター活動報告会が開催された。5つのプロジェクトの年間活動報告と来年度のプロジェクトリーダーから活動予定が発表された。



2025年度学生サポートセンターインターンシップ修了式・活動報告会

2月24日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA2階学生・コモンズで2025年度学生サポートセンターインターンシップ修了式・活動報告会が開催された。2025年度は29人が修了し、うち11人が不言実行館賞を受賞。家泰弘不言実行館長より修了証書が授与された。



2025年度中部大学次世代研究者挑戦的研究プログラム活動報告会

3月17日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールで、2025年度中部大学次世代研究者挑戦的研究プログラム活動報告会が行われた。活動報告会では、採用学生8人が自身の研究とプログラムでの活動内容について発表し、インターンシップ報告会では2人が発表した。



トライアスロン部

山田壮流さんが
JTU学生ランキングで全国5位

山田壮流さん(スポーツ保健医療学科3年)が、日本トライアスロン連合(JTU)発表の2025年JTU・大学ランキングで全国第5位にランクインした。本ランキングは年間の主要大会ポイントで学生の實力を測る国内最高峰の指標で、山田さんは年間を通じて安定した成績を収め、見事トップ5入りを果たした。



水泳部が第45回春日井市スポーツ賞
表彰式で一般賞を受賞

3月20日に行われた春日井市スポーツ賞表彰式で、水泳部アーティスティックスイミングチームの三瀬瑠佳さん(理学療法学科4年)、橋井明音さん(同1年)が一般賞(個人)を受賞した。また、水泳部が一般賞(団体)を受賞した。



三瀬さん(左端)、橋井さん(右端)

野々垣優那さんが計測自動制御学会
(SICE)でSICE優秀学生賞を受賞

野々垣優那さん(経営総合学科4年、市原寛之研究室)が、公益社団法人計測自動制御学会(SICE)でSICE優秀学生賞を受賞した。この賞は、該当年度に卒業見込みであり、人格、学業ともに優秀な者に贈呈される。



留学フェア

4月8・15日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA2階学生・デント・コモンズで留学フェアが開催され、留学希望者169人と留学経験者の学生61人、留学生11人が参加した。



ハローキャンパス

学生サポーター主催のハローキャンパスが、4月15日と22日の午後、不言実行館ACTIVE PLAZA2階学生・デント・コモンズで開催され、学生4人と学生サポーター5人延べ9人が参加した。クイズやレクリエーションを実施し、他学科の学生と交流を深めた。



2026年度中部大学次世代研究者
挑戦的研究プログラム採用式

4月16日午前、不言実行館ACTIVE PLAZA5階IL Group Career Hub A(クリエイティブ・ラボA)で2026年度中部大学次世代研究者挑戦的研究プログラム採用式が行われた。採用されたのは大学院博士後期課程の今井孝洋さん(工学研究科情報工学専攻)、田中宏樹さん(工学研究科創造エネルギー理工学専攻)。



田中さん(前列左端)、今井さん(同右端)

硬式野球部応援バスツアーを開催

4月26日、スポーツ・文化センター事務課主催による株式会社ゆめスタpresents中部大学応援バスツアー(第1回)が開催された。本イベントは、硬式野球部の春季リーグ戦を応援する学生限定の企画で、当日は多くの学生が参加し、大学から球場までバスで移動。球場に到着した参加者にはオリジナルの応援グッズが配布され、スタンドでは硬式野球部員たちも合流。部員によるリードのもと、応援団と一体となって熱いエールを送った。



かすがいビジブレ2025で4チームが受賞

3月7日にネクシティパレットで開催された、かすがいビジブレ2025で経営総合学科から4チームが受賞した。

今井伶香さん

(経営総合学科3年、越傳研究室)



松島七海さん

(経営総合学科3年、越傳研究室)



チーム名

まいみーる

西泰輝さん(経営総合学科2年)、深澤有咲さん(同)、村松壮真さん(同)、渡邊智美さん(同)、梅田怜実さん(同)



左から深澤さん、渡邊さん、西さん、梅田さん、村松さん

筒井俊介さん

(経営総合学科3年、寺澤朝子研究室)



中部大学ESDエコマネーチームが 社会人基礎力育成グランプリで 審査員特別賞を受賞

3月12日、拓殖大学文京キャンパスで開催された、一般社団法人社会人基礎力協議会主催の社会人基礎力育成グランプリで中部大学ESDエコマネーチームが、審査員特別賞を受賞した。この賞は、経済産業省が提唱する「社会人基礎力」を、活動プロセスを通じて顕著に発揮・成長させた大学・団体に贈呈される。



小池璃緒さんが令和7年度 土木学会中部支部研究発表会で 優秀講演者賞を受賞

3月6日、岐阜大学で開催された、令和7年度土木学会中部支部研究発表会で小池璃緒さん(都市建設工学科3年)が優秀講演者賞を受賞した。発表タイトルは、「非焼成セラミック製インターロッキングブロックの温室効果ガス排出量の算定」。



菊澤百々菜さん、萩原圭島さん、 松浦未来さんが未来60年賞チャレンジ コンテストで奨励賞を受賞

3月10日、九州産業大学で開催された、電子情報通信学会未来60年賞チャレンジコンテストで菊澤百々菜さん(工学研究科情報工学専攻博士前期課程2年、木村秀明研究室)、萩原圭島さん(同)、松浦未来さん(同1年)が奨励賞を受賞した。発表タイトルは、菊澤さんが「HLE Floor: 歩くだけで健康寿命を貯金する都市床」、萩原さんが「生体・デジタル完全同期: 分子通信による『リアルタイム・パイオツイン』」、松浦さんが「コグニションガイド ~教える人の思考を冒険するクラス~」。



松浦さん

菊澤さん

テーマ

～世界に羽ばたけ米粉の未来～
「やわ恋もち」で広がる糯米洋菓子の世界

松井翼さん(食品栄養科学科食品栄養科学専攻4年、藤原孝之研究室)



チャレンジ賞



テーマ

大麦仕上粉を用いた新食感カヌレの開発
～副産物資源の新たな可能性～

田辺綾菜さん(食品栄養科学科食品栄養科学専攻4年、藤原孝之研究室)



チャレンジ賞



2025年度夢・チャレンジ
「ちゅとラボ」活動報告会

2月25日、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・コモンズで夢・チャレンジ「ちゅとラボ」活動報告会が開催された。チャレンジコースの4団体、スタートアップコースから2団体がこの1年の活動の成果を発表した。



障害者スポーツの体験
ふれあい交流2025

2月7日午後、講堂(体育館)で障害者スポーツの体験ふれあい交流2025が開催され109人が参加した。伊藤守弘教授(スポーツ保健医療学科)らの講演会の後、義足体験や車いすレーサー体験などを行った。



第2回

みどり戦略学生チャレンジ
東海ブロック大会で5チームが受賞

2月9日にAP名古屋で開催された、第2回みどり戦略学生チャレンジ東海ブロック大会で、応用生物学部から出場した5チームが受賞した。

テーマ

食品栄養科学科藤原研究室の
『ウチワサポテンの食品加工～ゲル化・色彩保持・
乳化安定性の特性評価～』

市川愛梨さん(食品栄養科学科食品栄養科学専攻4年、藤原孝之研究室)、
遠藤光紗さん(同)、堀場咲花さん(同)



審査委員特別賞



左から市川さん、遠藤さん、堀場さん

テーマ

衛星ビッグデータを活用したブドウ葉巻病の
病徴調査

伊藤星那さん(応用生物化学科4年、堤内要研究室)



チャレンジ賞



テーマ

めんつゆ測定ゲームとカリウムアップによる
“合理的な減塩”の食育活動

寺澤里緒さん(食品栄養科学科管理栄養科学専攻4年、大西律子研究室)、
三木菜々美さん(同)、山中希乃佳さん(同)、犬飼未亜さん(同)、西尾実紗さん(同)、
佐藤妃南乃さん(同)、勝賀瀬悠佑さん(同)



チャレンジ賞



前列左から大西先生、三木さん、寺澤さん、山中さん、
後列左から勝賀瀬さん、犬飼さん、西尾さん、佐藤さん

新任の教員を紹介します。

①最終学歴 ②学位 ③専門分野 ④前職 ⑤趣味



電気電子システム工学科

いたや としや
板谷 年也 准教授

①山口大学大学院理工学研究科物質工学系専攻博士後期課程修了 ②博士(工学)(山口大学) ③計測工学、通信・ネットワーク工学、非破壊検査工学 ④鈴鹿工業高等専門学校電子情報工学科准教授 ⑤バドミントン、ソフトボール、ジムでのトレーニング



経営総合学科

あゆかわ みずほ
鮎川 瑞絵 講師

①名古屋大学大学院経済学研究科社会経済システム専攻博士後期課程修了 ②博士(経済学)(名古屋大学) ③財政学 ④名古屋市役所 ⑤読書



食品栄養科学科

おおた すずの
太田 鈴乃 助手

①中部大学大学院応用生物学研究科応用生物学専攻博士前期課程修了 ②修士(応用生物学)(中部大学) ③食品免疫 ④鈴鹿医療科学大学保健衛生学部医療栄養学科助手 ⑤お菓子・パン作り、音楽鑑賞、ショッピング



日本語日本文化学科

ひらき しんぺい
開 信介 准教授

①京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻博士後期課程修了 ②博士(人間・環境学)(京都大学) ③日本近代文学 ④三重大学人文学部リサーチアソシエイト(客員准教授) ⑤読書、音楽鑑賞



生命医科学科

やまうち りこ
山内 梨瑚 助手

①中部大学生命健康科学部生命医科学科卒業 ②学士(生命医科学)(中部大学) ③臨床検査 ④まつかけシニアホスピタル検査部 ⑤ライブ、散歩



都市建設工学科

tachibana kei
張 馨 准教授

①名古屋大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻博士前期課程修了 ②博士(工学)(名古屋大学) ③交通工学 ④名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター講師 ⑤旅行、写真



保健看護学科 看護実習センター

ふくだ あいこ
福田 愛子 講師

①愛知県立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士後期課程修了 ②博士(看護学)(愛知県立大学) ③がん看護学、在宅看護学 ④名古屋大学大学院医学系研究科附属健康医療ライフデザイン統合研究教育センター特任助教 ⑤手芸、音楽鑑賞



都市建設工学科

おかち ひろき
岡地 寛季 講師

①北海道大学大学院工学研究院環境フィールド工学専攻(英語特別コース)博士後期課程修了 ②博士(工学)(北海道大学) ③土木、防災、水工学 ④北海道大学大学院工学研究院特任助教 ⑤積読、ランニング、子どもと遊ぶこと



看護実習センター 保健看護学科

たがみ みきこ
田垣 美紀子 特任教授

①日本福祉大学大学院医療・福祉マネジメント研究科医療・福祉マネジメント専攻修士課程修了 ②修士(医療・福祉マネジメント)(日本福祉大学) ③看護、医療経営 ④春日井市民病院看護局長 ⑤読書、温泉巡り



建築学科

わたなべ しずか
温 静 准教授

①東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程後期修了 ②博士(工学)(東京大学) ③建築歴史 ④東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻教育研究助手 ⑤ハイキング、絵描き、旅行



救急救命教育・実習センター スポーツ保健医療学科

なかの しゅんすけ
中野 峻佑 助手

①中部大学生命健康科学部スポーツ保健医療学科卒業 ②学士(スポーツ保健医療学)(中部大学) ③生命健康科学 ④春日井市消防本部 ⑤ジョギング、銭湯、サウナ



情報工学科

もりた けんた
森田 賢太 講師

①三重大学大学院工学研究科システム工学専攻博士後期課程修了 ②博士(工学)(三重大学) ③知能情報学 ④鈴鹿医療科学大学医工学部助教 ⑤旅行、料理

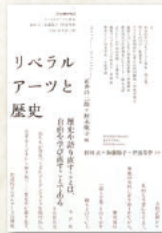


新刊紹介



そのとき私は、
宮古の聖なる森の片隅で

著者：平井芽阿里准教授(国際学科)
発行：風媒社
2026年2月25日
定価：800円+税



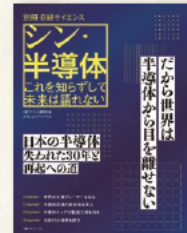
リベラルアーツと歴史

共編者：石井洋二郎名誉教授、鈴木順子教授
(創造的リベラルアーツセンター)
発行：水声社
2026年2月10日
定価：2,500円+税



生成する伊勢物語

著者：本田恵美教授(日本語日本文化学科)
発行：武蔵野書院
2026年2月1日
定価：8,000円+税



シン・半導体

これを知らずして未来は語れない

監修：黒川卓特任教授
(人間力創成教育院教養課題
教育プログラム(科学技術リテラシー))
発行：日経サイエンス
2025年12月22日
定価：2,000円+税



ホタルのことが
知りたい

著者：大場裕一教授
(環境生物科学科)
発行：くもん出版
2026年4月16日
定価：1,400円+税



イタリアのデザイン経営(続)

—家電、自転車、ヨット、靴の事例—

著者：小山太郎講師
(人間力創成教育院教養課題
教育プログラム(人文・社会リテラシー))
発行：三恵社
2026年3月1日
定価：3,200円+税



食の安心・安全 ほんとうの話

著者：山本敦名誉教授
発行：風媒社
2026年2月27日
定価：800円+税



中部大学
クラブ公式Instagram
がスタート

Club Activity

中部大学クラブ公式Instagram(@chubu_activity)を開設しました。日々の練習風景や試合結果、イベント情報など日々の活動を発信していきます。学生たちの活動をぜひご覧ください。



@chubu_activity



Random Shot 第204回

世界への「挑戦の舞台」を整える



国際交流課長
筒井 博司さん

趣味は旅行。休日は家族と過ごす時間を何より大切にしている。最近の関心事は、外国出身の妻が始めた日本での生活の様子を配信しているTikTokのフォロワー数で、「開始4日で1万人、3週間で2万人近くまで伸びました」と、その反響にとても驚いている。

「学生が新しいことに挑戦できる舞台を整えることを常に意識しています」と語る筒井博司さんは、国際交流課長の筒井博司さん。留学生の派遣や受け入れ、海外の大学との協定締結や語学教育支援など、多岐にわたる業務の指揮を執っている。長年の海外勤務を経て本学に着任した筒井さんは、現在の業務について、それまでの経験を直接学生に還元できる貴重な機会だと語る。筒井さんは「海外へ行くことで物の見方が劇的に変わります。慣れない環境を自分の力で乗り越え、たくましく成長して帰国した学生の姿を間近で見られることが、何よりの喜びです」と笑顔で話す。

考え抜き、自分を築く

本学国際関係学部の卒業生でもある筒井さんは、学生時代の恩師による徹底した指導が現在の礎になっているという。バックパックには常に重い課題図書が入っていました。2年次の春休みには、北中米を縦断しながら、移動中のバスや安宿でひたすら読み続けました。課題の多いゼミでしたが、あの時自分で調べ、考え、まとめた経験は、その後の仕事においても、どこへ行っても通用するという自信になっています。

卒業後は、JICAや米州開発銀行などの勤務を通じて、国際協力の専門的な業務に従事。言葉も文化も異なる現場を渡り歩く中で、適応力と専門性は必然的に高まっていった。

学生の皆さんには「国内外を問わず、異なる環境に身を置いてください。そうすることで、これまでの価値観や前提を見直す機会が生まれ、自らを客観視できるようになります。AIの活用が進む時代ですが、自ら考え抜く力は不可欠です。学生時代に身につけておく「一生の財産になります」とメッセージを送る。



活躍するOB

File.168

弓道写真家

奥野 浩次さん

2006(平成18)年度 国際関係学科卒業

100年先へ、想いを写す

フリーランスのカメラマン、コミュニティマネージャーとして活動する奥野浩次さん。その核にあるのは、高校時代から情熱を注ぎ続けている「弓道」だ。奥野さんは現在、世界で唯一の「弓道写真家」として、弓道の普及と魅力発信に心血を注いでいる。その活躍は幅広く、自身の写真展の開催、テレビ番組やCMでの技術監修、さらには大手企業のCMに奥野さん自身が弓道をする場面で出演したこともある。

「カメラマンとしての原点は、学生時代に独学で始めた風景写真でした。しかし、自分にしか撮れないものは何かと考えたとき、行き着いたのが弓道でした。弓道を知り尽くしているからこそ切り取れる一瞬の美しさがあります。それを形にして、100年先まで色あせない作品として残したいと考えています」

相手を深く理解する姿勢

奥野さんの作品の特徴の一つは、実用新案も取得している「和紙へのにじみのない印刷技術」だ。データ社会だからこそ、和紙の質感を生かしつつ、武道の

持つ細部まで空気感を表現している。その情熱は国内に留まらず、ウィーンやメルボルンでも個展を開催。弓道を知らない人々が、奥野さんの写真を見て「弓道を始めてみたくなった」と連絡をくれることが、何よりのやりがいだという。

一方、コミュニティマネージャーとして、企業や起業家を繋ぐ役割を担う。全く異なる2つの職種だが、共通して根底にあるのは「相手を深く理解しようとする姿勢」だ。「どんな仕事でも対人関係が基本で齟齬がないよう徹底的にヒアリングを行い、相手の要望を自分の中で咀嚼して最適解を出す。この力は、中部大学の国際関係学科で学んだ経験が大きく影響しています」

原点での学びを糧に、次なる挑戦へ

学生時代は弓道部に所属し、仲間と共に3部リーグから1部昇格を果たすという実績を残した。ゼミでは高英求先生(国際学科)のもと、厳しい中でも活気ある議論の中で思考力を鍛えた。「ディスカッションでは誰よりも先に手を挙げる」という当時の習慣が、現在の

主体的な働き方に繋がっている。

今後の目標は、世界中で個展を開き、弓道の精神性をグローバルに広めることだ。忙しい日々の中でも、イメージトレーニングを含めた「弓道の練習」を欠かさない。それは奥野さんにとって、自分自身を研ぎ澄ます大切な時間でもある。

信頼できる「相棒」と「仲間」を

後輩となる学生の皆さんへ、自身の経験を交えながらメッセージを送る。

「道具を選ぶときに最新のもの、値段が高いものが常に最良のものであるとは限りません。大切なのは自分に馴染み、心から『信頼』できるものを選ぶこと。それが最高の結果に導いてくれます。そして、とにかくたくさんの友人や知り合いを作ってほしいです。大学の4年間は、小中高とは異なり、自分の意志でいくらかでも世界を広げられる自由な時間です。そこで出会った仲間や経験は、その後の人生において大きな財産になります。中部大学というチャンスに溢れた環境を最大限に活用して、自分の可能性を広げてください」



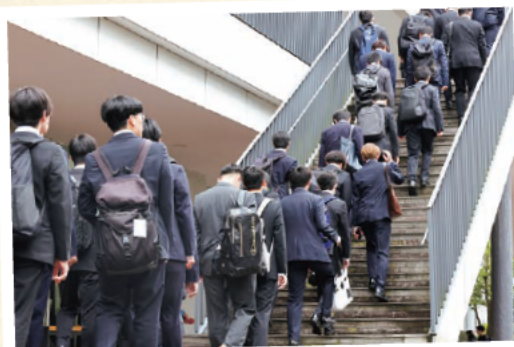
うら話



2026年度入学式



▲ フォトパネル前で記念撮影



▲ 講堂(体育館)からオリエンテーションに向かう新入生



▲ 勧誘のチラシを配る学生

4月1日、花時雨の中、2026年度入学式が挙行され、3,209人の新入生を迎えました。式典は講堂(体育館)を会場とし2部制で執り行われ、その様子はYouTubeでもライブ配信されました。付き添いの方々は学内のサテライト会場から、期待に胸を膨らませる新入生の晴れ姿を見守りました。

メインストリートでは、数多くのクラブ・サークルの学生が沿道を埋め尽くして「花道」を作り、勧誘のチラシ配りで後輩たちを歓迎。キャンパスは新生活への熱い活気に包まれました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。素晴らしい先輩や教職員と共に歩むこれからの4年間は、実り多きものになるよう教職員一同応援しています。

編集 後記

キャンパスの木々が新緑に輝く、爽やかな季節となりました。新入生の皆さん、大学生活には慣れましたか。最初は緊張もあったかと思いますが、講義やサークル活動など、生活のリズムが整ってきた頃でしょう。

大学は学びを深めるだけでなく、新たな挑戦を通じて自分を再発見できる場所です。皆さんが踏み出す一步一步に、本誌が彩りを添えられる存在であれば幸いです。今年度も『ウプト』をよろしくお願いたします。

中部大学通信 ウプト No.237

発行日/2026年5月31日
発行/中部大学ウプト編集委員会
編集/入試・広報部 制作課
〒487-8501 春日井市松本町1200
<https://www.chubu.ac.jp/>
Tel: 0568-51-4465(制作課直通)
E-mail: info-seisaku@fsc.chubu.ac.jp